

# 2014 FIA F1世界選手権シリーズ第15戦 F1 日本グランプリレース 開催レポート

## 【大会開催概要】

### ■大会名称:

2014FIA F1世界選手権シリーズ第15戦 日本グランプリレース

### ■併催:

スーパーFJチャレンジカップレース・ポルシェカップジャパン第10戦&11戦

2015年1月14日  
株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット

## ■2014F1日本GP テーマ『Change.Change.Change.』

2年ぶりの日本人ドライバー参戦、マシンレギュレーション改革など、『変化の多い2014年シーズン』を表現するキャッチコピーとして『Change.Change.Change.』を設定。

イベント面における“F1レジェンドドライバー”N・マンセル氏招聘や、観客受入のレベルアップなど、F1運営レベルの進化も目指して、表現いたしました。



### ①HondaF1復帰まで残り1年！

2015年に控えた、HondaF1復帰に向けてムードアップを目指すために、Hondaと連携して、第2期F1ブーム体験層への来場訴求やイベントや物販に取り組みました。



### ②ファミリーも楽しめるF1日本GPとして、さらに進化

次世代のF1ファン、モータースポーツファン作りを目的に、お子様と一緒にファミリーが楽しめるF1日本GPを目指して、様々なファミリー向けイベントを開催いたしました。



※SUZUKA F1Kidsロゴ:統括団体であるFOMが日本のお子様のF1ファンのために作ってくれた特別ロゴ

『HondaF1復活』をテーマに、N・マンセル氏をはじめとし海外の元F1ドライバーや、レジェンドマシンのイベントを実施。



悪天候により  
イベント中止

展示企画～HondaF1復活の鼓動～(マシン展示、エンジン始動パフォーマンス)

レジェンドF1デモラン



土曜 前夜祭 (N・マンセル、小林可夢偉、佐藤琢磨)

マンセルさんと一緒に写真を撮ろう！



F1スペシャルステージ レッドブルトークショー／N・マンセルトークショー・サイン会／元F1ドライバートークショー

レーシングシアター前ひろばにおいて、お子様が様々なF1にまつわる体験や学びができるイベントを実施。



小倉茂徳氏のF1マシン速さのヒミツ教室



【コチラレーシングのF1ピット】なりきりフォトスタジオ



東急ハンズプレゼンツ『フォーミュラ・マシンキャップ作り教室』



お子様無料『F1フェイスペイント』



タイヤ交換 & エンジン始動パフォーマンス(スーパーフォーミュラ)



お子様無料『F1ネイルアート』



F1公式スケジュール以外の木曜もイベントを開催。木曜は、地元小学校もピットウォークに参加。



	2013年	2014年	前年差
学童ピットウォーク	5校 302名	9校 635名 うち6校が交流プログラム参加	4校 333名 増加

【木曜】 F1ピットウォーク



【木曜】 東コースウォーク



【木曜】 サイン会



台風により  
イベント中止

【月曜】 ファンミーティング

## ■2014年の総括

①小林可夢偉選手が参戦するが、成績低迷およびシート喪失問題や台風による悪天候のために、動員は大幅減少。

※決勝後の西コースウォークや月曜日イベントは安全を考慮し中止。

②海外での日本GPチケット購入者が約2,000名。(前年より30%以上増)

③地元小学生の木曜ピットウォーク参加数は昨年から増加。(4校333名増)

④中勢バイパス バス専用道運用など地域一体となった受入。

⑤2015HondaF1復活に対する期待感が高まり。※来場者アンケートより

動員数	2012年	2013年	2014年	前年差
10月2日(木)	10,000名	6,000名	8,000名	+2,000名
10月3日(金)	41,000名	33,000名	30,000名	▲3,000名
10月4日(土)	64,000名	52,000名	48,000名	▲4,000名
10月5日(日)	104,000名	86,000名	72,000名	▲14,000名
10月6日(月・祝)	10,000名	5,000名	イベント中止	▲5,000名
合計	229,000名	182,000名	158,000名	▲24,000名

いよいよHondaF1復活の年。マクラーレン・ホンダの話題性に加えて、レッドブル、フェラーリのドライバーがシャッフルされ、ドライバー軸での変化点も見所になる。

## ■2015年 F1日本GPを取り巻く環境

### ①マクラーレン・ホンダ 参戦開始

2008年ぶりにHondaがF1に復帰。名門マクラーレンとPUサプライヤーとして組むことで初年度から大きな活躍が期待できる。ドライバーは、F・アロンソ('05、'06チャンピオン)、J・バトン('09チャンピオン)。

- ⇒一般メディアにおける国内の話題性高まり
- ⇒HondaグループのF1活用活性化

### ②トップチームのドライバーシャッフル

ベッテルがフェラーリに移籍することで、ライコネンのタッグが注目される。  
⇒マクラーレン・ホンダとあわせて、トップチームラインナップ変更。

### ③日本人ドライバーのフル参戦無し

### ④開催日の変更

初の9月開催。9月27日(日)決勝



マクラーレン・ホンダドライバー  
F・アロンソ、J・バトン



4年連続チャンピオンのS・ベッテルが名門フェラーリへ移籍  
(2010-2013年チャンピオン)

2015年は、**HondaF1復活**という、“母国”F1日本グランプリに向けて、**大きな盛り上がり**が予想されます。

これまでとは比較にならないほどの**F1関連情報がメディアやインターネットを通じて発信**され、今までF1やモータースポーツに興味が無かった方々に対しても、『**F1**』や『**鈴鹿**』が**伝えられる**と思われまます。

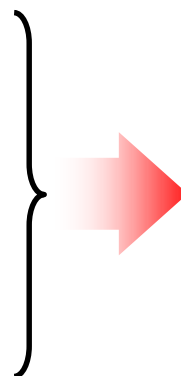
鈴鹿サーキットとしても、メディアの皆様のご協力をいただき、広く発信するとともに、3月のファン感謝デーを皮切りに、**各レースおよび春休みやGWなどの遊園地イベント**においても、F1の魅力をお客様に伝えて、国内外からより多くのお客様を三重県、そして鈴鹿市にお迎えしたいと考えております。


ぜひ鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会の皆様におかれましては、変わらぬご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### ■F1日本GPに向けたムードアップスケジュール

- |              |                              |
|--------------|------------------------------|
| <b>1月29日</b> | <b>マクラーレン・ホンダ新車発表会(イギリス)</b> |
| 3月7-8日       | HondaF1復活祭(MSファン感謝デー)        |
| <b>3月15日</b> | <b>F1オーストラリアGP(開幕戦)</b>      |
| 4月18-19日     | 鈴鹿2 & 4レース(EnjoyHonda)       |
| 5月23-24日     | SUZUKA Sound of ENGINE       |
| 8月29-30日     | スーパーGT 鈴鹿1000km              |

※その他、春休み・GWにおいても、F1関連イベントを展開



- 
- F1日本GP(5日間)
- 9月24日(木)ピットウォーク・サイン会
  - 9月25日(金)フリー走行
  - 9月26日(土)公式予選、前夜祭
  - 9月27日(日)決勝
  - 9月28日(月)ファンミーティング